



横浜市立鶴見小学校

学校運営協議会は地域参画による学校づくりを進めます

# 学校運営協議会だより

令和元年度 No.3

2月19日、第3回学校運営協議会が開催されました。

学校運営協議会も発足して順調に推移し2年がたちました。各委員による学校の状況の把握もしっかり出来てきております。各委員より、学校運営はもとより児童、教職員の安全安心を中心に多岐にわたる意見をいただきました。小学校と地域をつなげていく仕事についても、かなり進んできたように思います。



教育活動報告の中で、児童と保護者のアンケート結果について保護者よりのアンケート結果の提出が少なくなってきたとの報告がありました。紙とスマホとの併用についての話がありましたが、スマホ使用の場合は誰が提出したか分かりにくいとのこともあります。アンケートは多く集まるのが本来であり、今後数多く集まるように努力が必要かと思っております。保護者の皆様も子どもたちの事ですので、アンケート提出にご協力いただきたいとお願い申し上げます。

新型コロナウイルスについてですが、卒業式・入学式や、その他日常の活動にも多大な影響を受けております。これは私見ですが、新型コロナウイルスとの戦いだと思えます。我慢できることは我慢する必要があるかと思えます。子どもたちが健康に過ごせる日が早くくるように、地域の皆様とともに助け合ってこの難局を乗り切ってまいりたいと思えます。

学校運営協議会会長 長谷川 勝一

## ボランティアを募集しています！

授業のお手伝いボランティアを募集しています。

保護者や地域の皆さん、鶴見小の子どもたちの成長を一緒に見守っていきませんか。

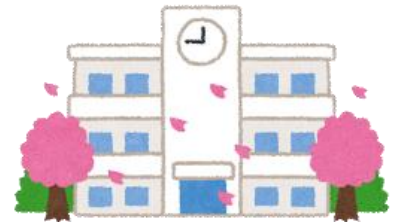
鶴見小では、子どもたちの学びを深めるため様々な体験的な学習が行われています。子どもの学びを深めるために、担任の先生だけでは手が足りない場合があります。ボランティアに登録していただいた方には、お手伝いが必要なときにその都度連絡させていただきますので、ご都合に合わせて無理なく参加できます。ぜひお気軽にお問い合わせください。

教育支援隊隊長 澁谷純子

お問い合わせ先：鶴見小学校 045-521-9618 事務局：起（おこし）まで

教育支援隊 隊長 澁谷純子

学援隊 隊長 本多友二



## 安全見守りタグをぜひご活用ください

黄色い安全見守りタグ（右図）は、つるみっ子たちを地域で見守ろうという活動の趣旨のもと、作られました。

このタグをつけている大人が地域にいることで子どもたちも安心し、防犯にもつながります。お持ちの方は、通勤やお買い物の時など、ぜひつけていただけるようご協力ください。



## 教育支援隊・学援隊はこんな活動をしています

鶴見小学校では、地域のボランティアや企業の方にご協力をいただいて、様々な体験的な学習を行っています。

**教育支援隊**は、先生と地域や企業の方々をつなぐ準備段階の調整役となり、当日には授業がスムーズに進むようにお手伝いをしています。

**学援隊**は、学校内外で子どもたちの安全を見守る活動を主にしています。

令和元年度後期の主な活動をご紹介します。

### ◆火おこして焼き芋を作ろう (1年生)

(内容) 自分達で育てたさつまいもを調理し食べることを通して、旬の味覚を味わったり、支えてくれている人達に感謝の気持ちを持ったりすることができる。

(ボランティアの活動内容) 収穫したサツマイモを児童と保護者で準備し、防災ベンチで焼き芋を作る。防災ベンチの火おこしと焼き芋作りの活動。



### ◆昔のくらしや道具の話を聞こう (3年生)

(内容) 東町老人クラブ「九十九会」日向会長より、昔の道具と暮らしの話を聞き、道具や暮らしがどのように変化してきたかを知る。

(ボランティアの活動内容) 実施日の調整と打ち合わせをする。当日は活動の見守りをする。

ボランティアの方の感想：

- ・もっと早くに依頼を受けていたら、写真などを準備して分かりやすく話ができただけかと思う(日向会長より)
- ・スライドがあれば、より分かりやすかったと思う。
- ・炊飯器の話、洗濯の話、テレビや電話など多岐にわたった話で面白かった。



### ◆琴の体験学習 (4年生)

(授業の内容) 琴の演奏方法を知り、「さくら、さくら」を演奏する。

(ボランティアの活動内容) 実施日の調整をし、打ち合わせをする。琴のレンタルを依頼する。前日に琴の搬入をし、菊屋さんと会場準備をする。当日は見守り活動をし、片づけをする。

\*菊屋 和楽器店 木村様 他3名の先生方

ボランティアの方の感想：

- ・プリントでボランティアを募る時に、準備・片付け、授業中のお手伝いの内容が簡単に分かると良い。
- ・こんなにたくさんのお琴が準備できると思っていなかったの、子ども達もこの貴重な体験を身に染みて感じていると思った。
- ・今年はボランティアの人数が多かったの、準備も片付けも早かった。来年もあるならば、人数が多く集まれるようにしたい。
- ・少しの間に子ども達が上達し、すごいなと思いました。



## ◆図書館PRプロジェクト（5年生）

（授業の内容）

- ① 自分たちがまちのためにできることを考え、その実現に向け取り組むことができる。
- ② 読書推進に関わる方々（区役所、鶴見図書館）の願いや思いを知る。
- ③ 図書館PRのための動画作りについて学ぶ。

\*YOUテレビコンテンツ事業部制作チーム 鈴木仁様  
\*鶴見公会堂で開催された「つるみ子育て・個育ちフォーラム」にてビデオ上映。

\*YOUテレビ「地域情報番組 My You!」にて放映。

（ボランティアの活動内容） 講師になってくださる方をさがし、担任と共に来校日時や内容などを打ち合わせをして当日を迎える。当日は授業の様子をカメラで撮影する。



## ◆茶道・華道の体験学習（6年生）

（授業の内容） 室町時代に生まれた文化を体験する。

（ボランティアの活動内容） 実施日の調整と打ち合わせをする。花器を鶴見中学校から借りる。2つの体験があるので2グループに分けてもらう。前日は会場設営、当日は活動の見守りをし、片づけ作業をする。

\*華道：ベルロード海戸園様

\*茶道：石州流<sup>せきしゅう</sup>茶道同好会様

ボランティアの方の感想：

（華道）

- ・ボランティアの方々もたくさんいると助かる。これからも皆さんと楽しくボランティア活動したい。
- ・社会の授業であること。今日学ぶポイント、講師の方々の紹介など、教師がねらいを明確に説明してから授業を始めていくと良いと思う。



（茶道）

- ・当日の作業は事前に分担しておいた方が良い。
- ・体験する人数が当日の朝に分かれれば、余分な机と椅子を廊下に出して、先生方の動線の確保ができたと思う。
- ・の児童数に対して机の数が多かったため、人数を事前に把握できると、もう少しスペースがゆったり使えるのではないかと。
- ・前年度にお手伝いをして下さった方がいらっしやっただので、準備などスムーズに出来てよかった。



ボランティアでご協力くださった皆様、ありがとうございました。

## 第3回学校運営協議会が開催されました

2月19日（水）鶴見小学校会議室にて学校運営協議会が開催されました。

### ◆教育活動報告・令和2年度に向けて

「学校づくりのためのアンケートの結果」について、学校より説明がありました。

また「重点取組分野に対しての具体的取組」として各クラスの活動について紹介がありました。

来年度に向けての検討事項について報告がありました。

（運動会のプログラム編成について、観覧席の拡充についてなど）



<協議会委員からの意見等>

- ・ 主体的な学習については、日常の授業の取り組みで保護者には理解いただけているのではないかと思います。
- ・ さまざまな取り組みをされていると感じるが、児童の中には新しいことを始めるのが難しかったり、不安を感じたりする子もいる。詰め込みすぎず、少数派の子どもたちのことも考えて支援していただきたい。
- ・ 学校には様々な子どもがいる。大人がどこまで歩みよって、子どもたちの気持ちを汲み取れるかが大切。先生たちが細やかに見てくださっていると感じる。
- ・ 先生の働き方改革について。先生たちにかかっている負荷、資料作成、アンケートの回収も本当に大変だと思う。健やかな子どもたちを育てるためには先生たちも健やかでないといけない。
- ・ 「ついたもん」ご紹介。ランドセルにICタグをつけて、学校到着が分かるようなシステム導入を検討中。防犯面と、先生方の保護者対応の時間を減らすことにもつながる。
- ・ 子どもたち自身から外遊びしようという機会が減っている。休み時間が短いのかとも思う。  
→6時間授業も増え、休み時間を増やすのが難しい。
- ・ 家庭の会話など、保護者と子どもの関わりが大切。
- ・ 防災倉庫の点検、公園の苗木の植え替えなどで東町公園にきてもらった。
- ・ 校外学習が増えているのは良いと思う。よく町中で見かける。

### ◆つるみっ子三部会の報告

収支報告、活動報告がありました。

### ◆90周年記念行事について

運営委員について、令和2年度のPTA役員に運営をお願いしたいとお話がありました。

### ◆その他、感想等

- ・ 保護者ボランティアで来ていただく方に、このお手伝いはどんな授業のねらいの中で必要なのかなどの説明が不足していると感じる。
- ・ 年間を通して長い活動をする総合の授業の場合、この活動はどんな目的でやるのかを知ると、ボランティアをする楽しみにつながる。活動後の報告、写真なども保護者に伝わると、次回にもつながる。
- ・ 地域と学校が向く方向は同じ。でもかみ合わない部分がある。ただ、先生の働き方改革も大事。私たちが何かお願いすると先生の仕事が増える。そこはうまく調整しないといけない。私たちも手伝わないといけないのかとも思う。